

エスペラント ★

Verda Placo 2013 oktobro-novembro

みどりのひろば 2013年 10-11月

N-ro 24

Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)



Gurokisia (Florista gloksinio)

(fotis S-ino Baba) Legu P. 4

第18回ひめじ国際交流フェスティバルに参加して

塚本 猛

2013年10月27日、例年通り、姫路市大手前公園でフェスティバルが開催された。心配だった台風は前日に通過し、当日は朝から気持ちよく晴れていた。人出は順調で、広場のステージや食物を扱う各テントには開始当初から多くの見物客が詰めかけていた。当会会員の参加者は多田、塚本、



稲田、久保田、馬場、松田、中村、大前、三鍋、山岸、峰の11人だった（敬称略）。延べ来訪者数は約100人である。当会ではエスペラント関連の展示と、チラシ、メッセージカード、飴+折り紙の箱の配布を行った。チラシやメッセージカードには来年の関西エスペラント大会の宣伝を入れた。中村さんを始めとして、通りがかりの人に積極的に声がけをして説明を行った。



当会会員の多田さんと馬場さんとで、1メートルほどの大きさの緑星（緑の布張り）を作成・展示した。また、多田さんが「エスペラント3分間体験コーナー」としてDVDプレーヤーを準備し、希望者に視聴してもらった。川崎エスペラント会の「国際語エスペラントって何だろう？」等を使ったエスペラントの簡単な説明動画だが、このコーナーはなかなかの好評であった。

来訪者の中に、20年くらい前の子供の頃、エスペラント大会で合唱したことがあるという人が居た。エスペラントの歌詞を3曲くらいカタカナで書いたものを覚えて歌ったとのことだった。その後エスペラントに触れることは無かったようだが、良い思い出になったらしい。自分の経験からも、できれば子供の頃にエスペラントに触れる機会を増やしたいと感じた。

2014 年関西大会の公開番組決まる

2014 年 5 月 31 日と 6 月 1 日、姫路市で開催される第 62 回関西大会の公開番組がほぼ決定した。野田淳子さんのミニコンサート。日本語講演は橋弘文さん「柳田国男とエスペラントの人びと」。エスペラント講演はアレクサンドラ綿貫さん。テーマは未定。日本語通訳は綿貫健一郎さんの予定。ポーランド出身のアレクサンドラさんは各種学習書の音声版の吹く込み者として知られている。

関西大会第 3 回実行委員会報告

11 月 7 日午後、イーグレひめじのセミナー室 D で開催。出席は、稲田、大前、久保田、佐野、多田、塚本、中村、馬場、三鍋、峰、吉田+磯貝（神戸）、木元（KLEG）、前川（記念スタンプ）の 14 人。用意した資料に基づいて話し合い、次のことを決めました。

1) 予算案

KLEG 理事会の助言に従って、参加費などを見直し決定。この予算案は、11 月 16 日の KLEG 委員会に提示して、承認を得る。

2) 大会テーマのエスペラント文を再確認。

「歴史と文化のまち姫路にエスペラントの風を！」

Esperanton en la urbo Himeji, historia kaj kultura!

3) 記念スタンプ（郵便日付印）

前川さんの申し入れに対して、姫路郵便局から前向きの回答あり。郵便局の大会臨時出張所は、大会が借りた部屋の中であれば開設できることを確認。年明けに予定の郵便局へのスタンプの申請には、前川さんに多田さんが同道する。



4) 世界の人形展

Salono 内に、吉田さんと多田さんから提案されたポーランド人形 16 体を展示する方針を確認。

5) 公開講演は下記のように決定

- ・日本語：橋弘文「柳田国男とエスペラントの人びと」
- ・エスペラント：アレキサンドラ綿貫さん：テーマは「エスペラントの生まれたポーランドから見た日本」を提案する。日本語通訳は綿貫健一郎さんの予定。

- ・野田淳子ミニコンサート

なお、アレキサンドラさんには、「外国人エスペランチストと話す会」と発音を中心とした学習番組も依頼する。

この公開番組の広報について、意見交換。

5) Bankedo

「総社会館」（三日潮ダイニング）を予約。50 人。

6) 後援依頼

教育委員会、新聞各社などへ後援依頼は、稲田さんが担当し、必要に応じて、多田さんが同道する。

7) 広告

Kongresa Libro/Gvidilo に広告を募ってはどうかという提案があり、多くのアイデアが出された。（しかし、実行に当たっては課題が多いと思われるので、次回に再度相談したい：峰の付記）。

8) 行事保険の要否

大会開催経験者に相談したが、過去は保険をかけていない。行事内容から判断して必要なしと判断できる、ということで、今回も無しとする。

9) おおもとへの協力依頼

会員でないおおもとのエスペランチストの皆さんに、大会への参加と協力を依頼する（峰から呼びかける）。

10) 大会前の案内

参加申込み者に対して事前に観光等の情報を送ることを検討する。

11) Informilo の下書きを検討した。（文責 峰）

今後の予定

1月16日（木）午後2時～5時。セミナー室D。

3月13日（木）午後2時～5時。第3会議室。

はりまエスペラント会の親睦会

12月26日(木) 11時半～14時 “和 ダイニング三日潮”にて 「イグレひめじ」から郵便局南を3分の姫路総社横。駐車場有
会費：2100円(ランチ代。デザートと飲物付き) 会食中心になるので、ザメンホフ祭ではなく、姫路と加古川に分かれて集まっていますが、大会に向けて懇親を深めましょう。

皆様のご参加をお願いします。

野田淳子さんに歌っていただく歌

野田さんにエスペラントで歌っていただける歌は次のものです。この中から数曲、ミニコンサートで歌っていただきたい歌を選びたいと思いますので、要望をお知らせください。(峰)

「里の秋」「死んだ男の残したものは」「アリラン」「朝露」
「大きな歌」「赤とんぼ」「中国地方の子守唄」「千の風になつて」「時を超えて」「千羽鶴」

Floro “gurokisinia” (グロキシニア)

Baba Tokie

Kiam mi estis juna, mi ŝatis poemaron “Tiekosyo” de Takamura Koutarou. En la eseo aperas la floro kun nomo “gurokisinia”. Kiam Koutarou konstruis atelieron, Tiekdo donis la floron “gurokisinia”. Tiam mi ne sciis ĝin. Sed ial tiu ĉi “gurokisinia” allogis mian koron kaj la floro estis enigma por mi dum longa tempo.

Antaŭ kvin aŭ ses jaroj, mi trovis floron ekspoziciitan kiel “gurokisinia” en vendejo. Mi tuj aĉetis ĝin. De tiam mi aĉetas la floron ĉiujare. Kaj mi ĝoje rigardas ĝin.

Sed mi rememoras, ke en la eseo Koutarou skribis “la floro kreskis iom post iom, kaj la odoro fariĝis forta...” Kvankam mi kreskigas floron, tamen ĝi estas senodora kaj estas modesta. Mi opinias, ke ĝi certe ne konvenas kiel donaco de amatino. Tial povas esti, ke mi erare prenis alian floron.
Bedaŭrinde mia memoro povas mispreni kaj estas dubinda.

第14回中四国エスペラント大会に参加して

多田龍二

11月9日(土)～10日(日)に広島のパiazza昭和で大会は催された。私は用あって、2日目からの参加でした。参加者50名、不在参加12名が集った。西明石から新幹線で行き、会場までは約2時間足らずで着いた。3会場にわかれており、私はまず「世界大会、日本大会の報告」に参加した。OHPを使って、動画をみながら荒井、原田、田平さん達の説明、報告を聞いた。昼食をはさんで、「ウクライナ、アメリカ、いまはカナダ」Amis夫婦の3国の体験談をまじえて、いかにエスペラントが有効かのお話があった。同時に「スカイプで世界めぐり」と題して、ブラジル、韓国、ネパール、スペイン、ロシア、デンマークと10分刻みで自己紹介と1人1問交流を計画していたが、ブラジルとの交信ののちはうまくつながらず、私はAmis夫婦の講演とスカイプの会場を行ったり来たりした。その後「こどもたちの国際スカイプ交流」ロシアの子供たち(11-12歳)と広島の子供たち(10-11歳)の交信があった。ゲーム(カードあそび、スゴロク)をお互いが遊ぶ様子を見学した。終わりに会場みんなで“折り鶴”の歌を歌った。



閉会式に木元さん、忍岡さんの後押しもあり、すこし時間をいただき、第62回関西大会の案内をさせてもらった。お恥ずかしい話ですが、日本語で(突然の準備不足?)こじんまりと和気あいあいの大会でした。やはり、帰り道、エス語力を身につけなければと反省しきりでした。



Vortoj de kongreso Parto 2

大会用語 その2

大会準備 (prepari kongreson) 編 (daŭrigo)

kongresa kotizo	大会参加費
plenuma komitato	大会実行委員会
konfirmilo/ kvitanco	参加確認書/領収書

大会資料 (kongresaj dokumentoj) 編

kongresaj dokumentoj	大会資料
kongresa sako	大会資料袋
kongresa libro/ gvidilo	大会案内書
kongresa memoraĵo	大会記念品
memoriga stampo	記念スタンプ
memoriga poŝtmarko	記念切手
kongresa nomkarto	参加者名札

大会番組 (programo) 編 (daŭrigo)

gratula saluto/ mesaĝo	祝賀あいさつ/祝賀メッセージ
prelego en Esperanto	エスペラント講演
prelego en la japana	日本語講演

大会会場 (kongresejo) 編

akceptejo	受付
halo	ホール
kongresa salono	大会サロン
kongresa poŝtoficejo	大会郵便局

(daŭrigota en la sekvanta numero)

日本語の表現とは

馬場祝栄

寒椿

風が咲いている

空がぶつかってくる

冬を越す生物がその中に命の芽を

蓄えるように

私の身体も 寒さというエネルギーに

満ちてくる

これは今月の星野富弘のカレンダーに書かれている詩です。私はこれを読んだときこの詩の“風が咲いている”をエス語に訳すとどんな風になるのだろうかと思った。

Vento floras なんて訳したらそんな言葉はないと言われそうだし、Ventis と訳したらこの詩の迫力は伝わらない、又面白くない。空がぶつかってくるという表現は外国語にはあるのだろうか。そう考えると日本語は本当に奥が深い。前回の例会でエスペラント大会のテーマ”エスペラントの風”がエスペラントでは難しいという話になった、のを思い出した。外国人達が日本語は難しいというのはこんなところからきているのだろう。心の思いを、いろいろな言葉で表現している日本語は素晴らしいと同時に日本語をエスペラント語に訳すのは、難しいとしみじみと思いました。星野富弘さんの詩画集”風の旅”を“VentoVojagxo”とは訳したら変でしょうね。

秋の夜長の独り言です。



Kopiita de
Fejsbuko

はりまエスぺラント会の皆様に—————

神戸・はりま合同エスぺラント祭（ザメンホフ祭）

＞ 日時：2013年12月8日（日）13:00～17:00

＞ 会場：神戸市青少年会館 会費：500円

＞忘年会は例年どおりエスぺラント祭の後に中華料理店太陽楼で開催します。飲み放題2000円、飲まない人1500円の予定です。

＞————— 神戸エスぺラント会事務局 中道民広

三好鋭郎さんの「世界の人形展」を観て！

吉田信子

今回で3度目となる この催しは毎年十月上旬に開催され世界42ヶ国から800点余りとスケールも大きく、その多くは各国のエスぺランチストの協力により実現したとの事。東かがわ市引田はひな人形で有名な所です。小さなエリアですが町内の古民家など10ヶ所に番人もつけず おおらかに(?)展示されていました。

お目当てのポーランド館にはポーランド国内に16のエリアがあり、各々の民族衣装を身につけた男女の人形が目を引きました。同行した大前さんや二人の友人も興味深く見入っていました。ポーランドは180年余の長期間 隣接する国々に支配され言語の違いから来る悲しい歴史を持つ国で、それゆえにエスぺラントは誕生したのでしょうか。



800点余りもの人形に感動しながらも「海の幸」もしっかりと楽しんだ主婦たちの
楽しい秋の日帰り旅でした。

西脇の情報誌「ボナンタゴン」の続報

前号の疑問に対して、西脇のアピカホールの方にその名の経緯を聞きました。意外なことがわかりました。

以下はその回答文です。(多田)

「平成2年3月に、当時のJR鍛冶屋線が廃線となり、西脇市の玄関口であったJR西脇駅も廃止となりました。

その後、平成3年4月から地域経済の活性化と新たな都市核の創出を図るため、再開発事業が実施されました。

北棟は、マンションと銀行等の商業施設が入り、南棟は、ホテルと音楽ホールが入ることになりました。

平成8年7月に再開発事業が完了し、いよいよ各施設が稼動することになりますが、その際に愛称を公募しています。約20年近く前のことで、詳細はつかめていませんが、愛称の応募数はかなりの数(数百件)になったとの話であります。

愛称は「アピカ」(Apika)に決定していますが、その理由は次のとおりです。エスペラント語の「まっすぐな・・・」という形容詞がありますが、南北2棟が天に向かって伸びていく様と、西脇市が将来に向けまっすぐに発展する願いが込められています。

音楽ホールも平成8年7月に開館していますが、PR、情報発信に向け、情報誌を作成することになり、名前をどうするかについて、当時の編集委員が相談し、次のようになった

とのことでした。「アピカ」がエスペラント語のため、同じエスペラント語の名前を考えるなかで、「ボナンタゴン(こんにちは)」に決定したとのことでした。

時代は移り、音楽ホールは今年の7月に開館17周年を迎えております。開館当時の職員、運営スタッフは殆ど代わり残っておりませんが、「アピカ」、「ボナンタゴン」と先人が命名された名称の意味は、現在の担当者も受け継いでいるものと思っております。小さい音楽ホールですが、クラシック音楽を中心としたコンサートの開催や人材育成事業を実施し、市民文化力の向上に少しでも寄与できるよう取り組んでいるところであります。今後ともよろしくお願い致します。

ホームページは <http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/>です。

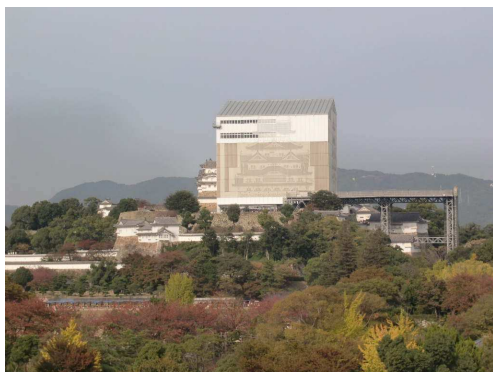
Gratulon al s-ro Nakahara, nia nova membro!



新会員の中原章さんは、5月1日に藤巻謙一さんが指導する沼津エスペラント会の通信講座の初級コースの受講を開始し、8月11日に修了されました。次は、通信講座『受講生通信』第150号に掲載された、中原さんの修了に当たって書かれた文です（末尾は、藤巻さんのコメント）。お二人の許可を得て転載させていただきます。なお、中原さんの受講者番号は1007、修了者番号は422。また、引き続き10月から中級コースを受講中とのこと。 (my)

Mi lernis Esperanton en Koresponda Kurso. Nun restas nur la 16a leciono de la kurso. Mi havis feliĉan tempon kaj tre bonan gvidon. Mi sentis, ke Esperanto estas ne-klara lingvo. Sed ĝi estas interesa. Mi daŭrigos lerni Esperanton. Dankon al la kursgvidanto!

[♡ Gratulon, ke vi komplete finis la tutan kurson!]



Nuna Kastelo Himeji
(fotis la 2a de novembro)

学習例会の記録

Kie, kiam, kiuj kune lernis?

<姫路:イーグレ第4会議室>学習例会は午後1時半～4時

9月26日 大前, 中川, 中村, 馬場, 三鍋, 山岸, (峰)

10月24日 大前, 中村, 馬場, 三鍋, (峰)

姫路では, 引き続き, 『エクスプレス・エスペラント語』を復習しながら, 互いに教え合うという形で初級からの再学習をしている。なお, 9月と10月は, 峰も顔を出して, 最近の話題を紹介したり, 学習の相談にのったりしました。(Mine)

<加古川:加古川総合文化センター>学習例会は午後2時～4時

9月22日 塚本, 多田, 馬場

10月20日 塚本, 久保田, 多田, 馬場

テキストは"Katrina malfruas",。

今後の例会予定

Kie, kiam ni kunvenos?

姫路 (午後1時半～4時, イーグレ第4会議室)

11月28日, 12月26日

1月23日, 2月23日, 3月27日

★**加古川** (午後2時～4時, 加古川文化センター第3会議室)

11月17日, 1月19日, 2月16日, 3月16日

編集後記:

姫路の国際交流フェスティバルも盛況のうちに終わり、合同ザメンホフ祭、懇親会と行事は詰まっています。そして、大会の準備と大変ですが、大会まであと222日となりました。

皆様のお力で姫路での大会を是非成功させましょう。よろしく願います。次回は1月20日発行予定です。原稿をお待ちしています。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

“Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro 24 2013年 11月 16日
発行: はりまエスペラント会 (〒671-0122 高砂市北浜北脇 29-16 峰芳隆)
編集: 多田龍二 明石市西明石町 5-6-2 t-ryuji@sky.plala.or.jp